質問者　生方（うぶかた）　愉茉（ゆま）　議員（２１番）

１　中心市街地の再開発事業と私たちの願いについて

ただいまの生方愉茉（ゆま）議員のご質問にお答え申し上げます。

現在進めている土地区画整理事業は、今住んでいる人や商売をしている人の土地を使いやすい形にして並び替えながら、道路や広場を整備し生活環境を整えることができる事業であります。

この事業により土地を集約させて、上之町に生方記念文庫や旧沼田貯蓄銀行など集客の拠点施設として「にぎわいの核」を、中町に子供やお年寄りを含め、人と人とがふれあえる施設として「やさしさの核」の整備を計画しております。また、この事業に併せて、各商店街では魅力ある商店街づくりに取り組んでいるところであります。

生方議員ご指摘の人口減少・少子高齢化の進展による「消滅可能性都市」の記事は全国に大きな衝撃を与え、国において「地方創生」に向けた対策が議論され、地方においては人口減少に歯止めをかける取り組みが課題となっているところであります。

今後、事業を進めるにあたり、ご提案のありました３つの具体的なアイデアを参考とさせていただき、商業だけにこだわることなく、子供からお年寄りまで、誰もが自由に行き来し、人と人とがふれあえるまちを将来像として、賑（にぎ）わいのある本町通りを再生し、人口減少に歯止めをかけるとともに、夢が実現できる「沼田」づくりに向けて取り組んでまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、生方愉茉（ゆま）議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。